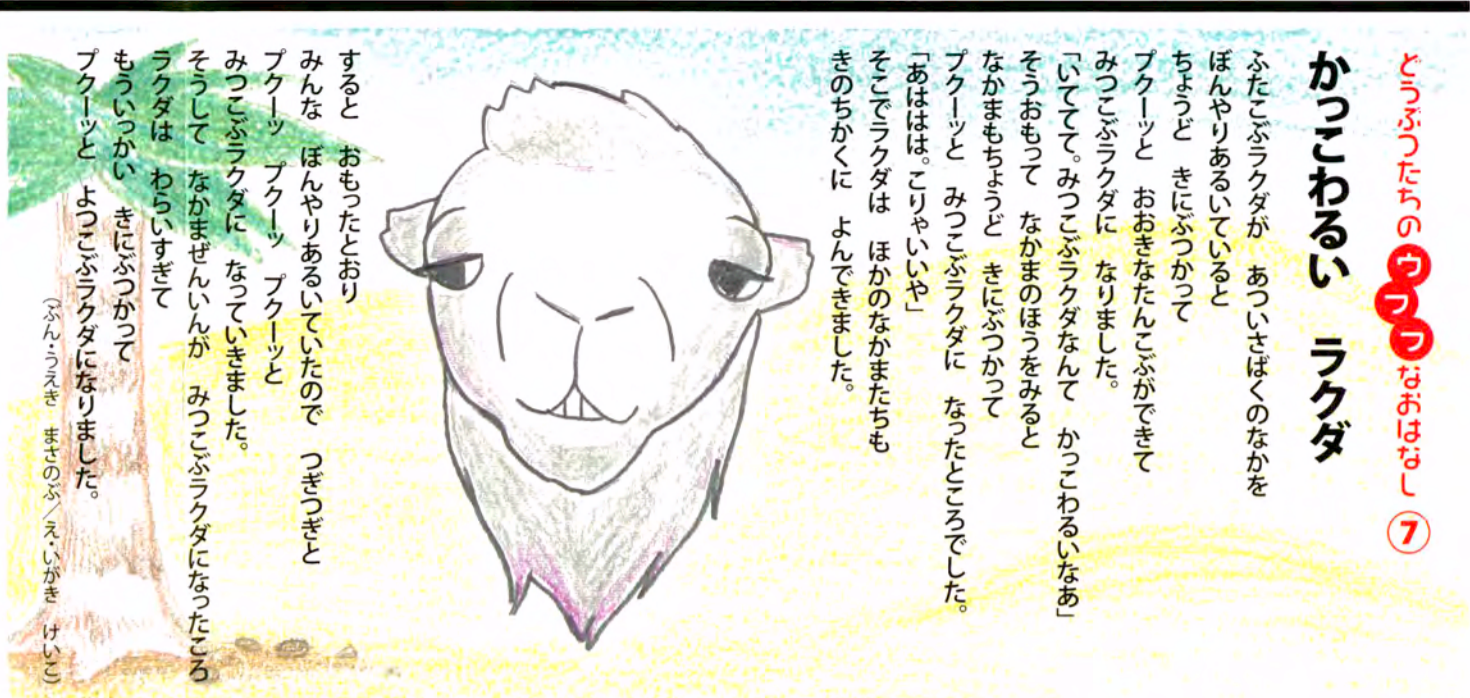


こどもの城

ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2009.10.1 No.210 発行/(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
http://www.kodomo-no-shiro.jp



かっこわるい ラクダ

ふたごラクダが あつさばくのなかを
ぼんやりあるいていると
ちょうど きにぶつかって
プクッと おおきなたんこぶができて
みつごラクダに なりました。
「いって、みつごラクダなんて かっこわるいなあ」
そうおもって なかまのほうをみると
なかまもちょうど きにぶつかって
プクッと みつごラクダに なったところでした。
「あははは、こりゃいいや」
そこでラクダは ほかのなかまたちも
きのちかくに よんできました。

すると おもったとおり
みんな ぼんやりあるいていたので つぎつぎと
プクッ プクッ プクッと
みつごラクダに なっていききました。
そうして なかまぜんいんが みつごラクダになったところ
ラクダは わらいますよ
もういっかい きにぶつかって
プクッと よつごラクダになりました。
(ふんとうえき まさのぶ えいがき けいこ)

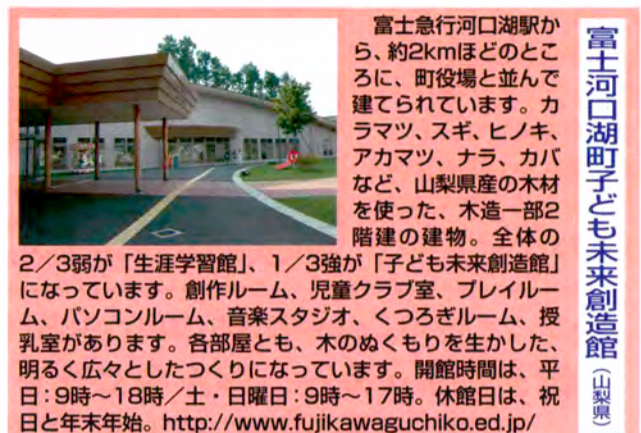
第10回全国児童館おりがみ作品展

10月31日～11月23日/(こどもの城)ギャラリー

「全国児童館おりがみ作品展」が、10月31日～11月23日に(こどもの城)ギャラリーで開かれます(11月2、9、16日は休館)。10回目の節目を迎えた、今回のテーマは「私たちの街Ⅱ」。各地の児童館・児童センターに集まる子どもたちが作った折り紙作品26点(立体13点、壁面13点)と、写真で参加する写真作品5点を展示。

私たちの街Ⅱ

(こどもの城)で展示したのち、来年の6月ごろまで、全国を巡回展示する予定。今回は、「船橋市三咲児童ホーム」(千葉県)と「富士河口湖町子ども未来創造館」(山梨県)を訪れ、制作しているようす取材しました。



富士河口湖町子ども未来創造館(山梨県)

“すごくにぎやかな” 私たちの街

三咲児童ホームでは、小学校3・4年生の「クラフト教室」のメンバー10人が作品を作りました。「クラフト教室」は、月1回金曜日の16時～16時50分に開かれ、身近にある素材を利用した作品作りをするグループ。一人ひとりで作品を作ることが多かったのですが、今年度は、みんなで力をあわせて「大きな作品」を作ることに力をそそいでいます。館内の案内掲示板のかざりつけ、乳幼児の活動プログラム・縁日で使ううちょうちん作りなど。それぞれの作品には、参加した子どもたちの名前が書かれていて、だれが作ったのかが分かるようになっています。

夏休みには、「全国児童館おりがみ作品展」に出品する作品を作りました。最初に、どのような「私たちの街」にするかを相談。未来をみすえた「夢のある街」、子どもたちが暮らしている「今の街」——いくつかのアイデアが出され、みんなで話し合い。その結果、「今の街」を作ろうということになりました。

どんなものが「私たちの街」にあるのか、考えました。にんじん、なす、なし、きゅうりなどの畑。住宅、病院、児童ホーム、郵便局、ラーメン屋などの建物や道路がリストアップされました。折り紙の本で折り方を調べ、野菜や建物を作りました。折り方は、子どもたちなりにアレンジ。手分けして作り

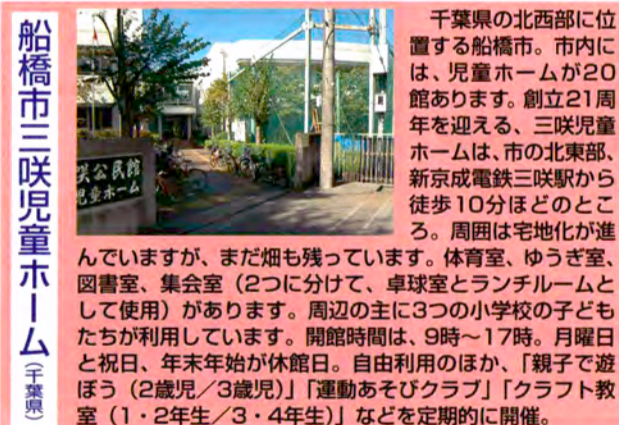
ました。全体の構成も考えます。中心になるのは、やはり「三咲児童ホーム」。病院と公民館が並びます。小さな紙に「設計図」を書き、配置を決めます。にんじん畑、住宅、なし畑……すべての要素が「設計図」に収まりました。

いよいよ折ったものを台紙にはっていきます。「設計図」を見ながら、「ここが、にんじん畑」とまと畑は、ここだよね」「ひまわりはどこ?」と、折ったものを置いていきます。かたちや大きさがいろいろなので、設計図どおりには収まりません。設計図と台紙をみくらべて、考えます。

最初に、道路の位置を決めることにしました。すると、「道路の横が郵便局」「なす畑はここでいいんだよ」と、場所が決めるようになりました。一つが決まるとつぎつぎに配置が決まります。手分けして、折り紙をはりつけていきました。

「児童ホーム」「うどん屋」「ラーメン屋」というように、建物にはかんぱんの文字を書き込みました。道路を走る自動車には乗っている人の顔、住宅にはそれぞれ「表札」がついています。「クラフト教室」のメンバーの名前です。折り紙をはるだけではなく、いろいろな書き込みをして作品は完成しました。

「折り紙をはるのがたいへんだ。いっぱいあったから」「折るのが楽しかった」「書き込んだりするのがたいへん」と子どもたち。「できあがったものを見ると、すごくにぎやかになってよかった」と満足そう。「私たちは、大きな絆を話さず、子どもが和気あいあいと話して、作品を仕上げてください。」「今の街」というテーマで作りましたが、できあがった作品は畑がたくさん残っていた数年前の街」と三咲児童ホーム園長の本間敏子さん。



船橋市三咲児童ホーム(千葉県)

“世界文化遺産”への願いこめて

「私たちの街」と言えば……と子どもたちにたずねると、時間をおかず、口々に「富士山」「富士五湖」「樹海」……という言葉が返ってきます。ここは、富士河口湖町(山梨県)の「子ども未来創造館」。町名からも分かるように、富士山のふもとにある町です。「私たちの街」で取り上げるものは、すぐに決まりました。

富士河口湖町には、富士山のすそ野に広がる青木ケ原樹海や富士ヶ嶺高原、その間に点在する、火山の噴火でせき止められた4つの湖(本栖湖、精進湖、西湖、河口湖。山中湖を加えて「富士五湖」と呼びます)があります。子どもたちは、日本を代表する自然のなかで育っています。野生の動物たちを目にすることも多いそうです。「見たことがある生きものは?」と聞くと、しか、うさぎ、たぬき、きつね、くま、さる、りす、きじ、へび——道路を横切っていたり、家の近くに出てきたりするそうです。

作品のテーマは、すぐに決まりました。世界にほころ、富士山を折り紙で表現する——です。次に考えなければならないのは、富士山を中心とした自然のすばらしさを、どのように折り紙で表現して、見る人に伝えていくかということ。

富士河口湖町には、「河口湖ハーフフェスティバル」「河口湖富士桜ミツバツツジまつり」「河口湖湖上祭」など、四季折々の自然を生かしたさまざまなイベントがあります。これらのイベントに結びつけるというのも、ひとつのアイデア。子どもたちが身近に接している、自然とそこでくらすたくさんの生きものをとおして、富士の自然を表現するという方

法も考えられます。どのように表現するかは児童クラブの子どもたちがアイデアを出しあい、考えていくことになっています。

折り紙を指導しているのは、日本折紙協会認定の折紙講師の石見谷紘さん。子ども未来創造館の「いそろう」を自認するボランティアです。「富士山と湖と樹海——ベーシックな形を私たちが考えて、そこに子どもたちの“発見”したものを加えていきたいと考えています。2つ作って、1つは出品し、1つはここに展示しておく予定」と石見谷さん。町から使い終わった観光ポスターをもらってきて、折り紙用紙に再利用。湖面に映った富士山のポスターを小さく切って、折り紙の富士山に作りかえ。「エコ」な作品という側面もあります。

「子どもたちの夏休みの思い出作りと思って、応募しました」と指導員の尾崎志乃さん。「せいっぱい、夏の思い出を“かたち”にしていきたい。子どもたちが作った、元気いっぱい作品を見ていただければと思います。制作の中心になるのは、小学校高学年の児童クラブの子どもたち。「子ども未来創造館を利用する、幼児から大学生、そして土曜日などは家族での利用も多いので、保護者のみなさんにも声をかけて、協力してもらおう予定です」と尾崎さん。作品作りが本格化するの、取材日以降。どのような折り紙作品になるのか楽しみです。「世界文化遺産になるように、願いをこめて作ります」と、いきごみを話してくれました。

- 第10回「全国児童館おりがみ作品展」参加館(順不同)
- 立体作品 札幌市平和児童館/福島市野田児童センター/さいたま市立岩槻児童センター/浦安市児童センター(千葉県)/富士河口湖町子ども未来創造館(山梨県)/京都市久我の杜児童館/神戸市総合児童センター/こべこランド/姫路市立北児童センター(兵庫県)/山口県児童センター/今治市白糸児童館(愛媛県)/宗像ユリックス(福岡県)/佐賀市久保田児童センター/キッズランド児童館(鹿児島県)
 - 壁画作品 札幌市菊水やよい児童館/同・豊園小ミニ児童館/雫石町児童館(岩手県)/種子ほく児童クラブ どりーむキャンパス(岩手県)/守谷市北谷児童センター(茨城県)/ふじみ野市立児童センター(埼玉県)/船橋市薬師児童ホーム(千葉県)/福井市すずこ児童館/犬山市東児童センター(岐阜県)/伊勢市明照児童館(三重県)/東近江市立あかね児童館(滋賀県)/京都市円町児童館/同・大塚児童館
 - 写真作品 札幌市屯田児童館/同・ひのまる児童館/同・丘珠ひばり児童館/同・中の島児童館/船橋市三咲児童ホーム(千葉県)

児童福祉施設給食用 スキムミルク

成長に不可欠な栄養素が豊富
たんぱく質、カルシウム、ビタミンB2
が多く含まれています。

子どもの成長に理想的な食材

スキムミルク(脱脂粉乳)は、牛乳から脂肪分(バター)を取り除いてつくりまます。スキムミルクの大きな特徴は、脂肪分が極めて少なく、低脂肪、低エネルギーであることから、飲用にも料理にも様々なお菓子づくりなどにも幅広く活用していただけます。さらに、良質なたんぱく質、カルシウム、ビタミンB2など成長や健康に欠かせない栄養素がたくさん含まれているのも特徴です。

スキムミルクは、動物性脂肪をほとんど含んでいないので、生活習慣病予防に役立つ健康食品としても高く評価されています。大人だけではなく子どもにも生活習慣病が増えている今こそ、低脂肪、低エネルギーのスキムミルクを上手に給食に取り入れ、子どもたちの健康づくりに役立ててください。

お申し込み 03-3591-3245
お問い合わせ TEL 03-3591-3245

財団法人 児童育成協会 児童給食事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX 03-3595-2216

ニュージーランドの良質な牛乳から作った「スキムミルク」を無税で輸入することにより、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

イラスト:ナシエ

